

死を、くれてやる...

アナゴ

言わずと知れたアニメ「[サザエさん](#)」の登場人物。
主人公・サザエさんの夫であるマスオが勤める海山商事営業課の同僚社員。
なんと **27歳** で既婚者、恐妻家という設定がある。
ちなみにアニメ版のみの登場キャラ。
磯野家&フグ田家+ノリスケー家以外のアニメ版レギュラーはほとんどが **原作には登場していない** (似たような名無しキャラは登場している)。
現在の声優は有名な大物声優・若本規夫氏。
ちなみに初代は「ドラえもん」の初代ジャイアンでおなじみのたてかべ和也氏で、若本氏は2代目。
正確には「穴子」と漢字で表記する。また、穴子というのは **名前ではなく苗字である**。
[マスオ](#)の方が年上であり、マスオは「穴子くん」と呼んでいる。下の名前は不明。

ニコニコRPGでは新たな魔王として[ピコ麻呂](#)の前に立ちふさがる。
外見こそ単なるサラリーマンのアナゴさんだが、中身は中の人ネタが豊富で全くの別人となっている。
そのネタの大半が「ドラゴンボールZ」のセルや「カプコンvsSNK」のベガ、「KOFシリーズ」のルガール(2002のみ)やイグニス、「悪魔城ドラキュラX~月下の夜想曲」のドラキュラ伯爵、「戦国BASARA」の織田信長、「キングダムハーツ」のゼムナス、「テイルズオブデスティニー2」のバルバトスなど大ボス声ばかり。
その戦闘能力は先代の魔王である[なのは](#)を遥かに上回る。

主人公パーティーを確実に撃破するため、13人の[ミステリアスパートナー](#)で分断した主人公たちを各個撃破するという作戦を立て、戦略家ぶりも見せる。
しかし肝心のミステリアスパートナーたちはアナゴの思惑を無視して一人ずつ戦いを挑む上、[オワタ王](#)は主人公側に味方する、[エイマン](#)は踊るだけ踊って逃げる、[坊主C](#)はピコ麻呂側に寝返る、[ドアラ](#)に至ってはそもそも戦いが嫌い...と、人選と統率に問題有りと言わざるを得ない。

32話のイベントの際[Fooさん](#)、[マスク・ザ・斉藤](#)、[紫](#)、[ピリー](#)の4人と戦闘になり、一度は追い詰められるが、力を解放するとまとめて瞬殺するほどの凄まじい実力を見せた。

この戦闘の際の元ネタは

右手 ジョニーの刀

左手 ベガのサイコパワーもしくは

イグニスの神に相応しい光の力

アナゴウェーブの際のボイス「塵に還るがいい！」

ルガールのカイザーフェニックス使用時のボイス

[ワールドデストロイヤー](#)

バルバトスの技

またこの他にもアナゴパンチ、アナゴクラッシュという技を使ってくるのが確認できる。

33話においてnice_boat 号に奇襲を掛け、ついにピコ麻呂達と対峙、紫達を瞬殺したその姿で襲い掛かって来る。

ここでの使用技は

- [強力若本](#) (全能力アップ)
- イグニスの『[天からお塩](#) (特大ダメージ)』
- ピクトリームの『[ベリーメロン](#) (HP大回復)』
- バルバトスの『[三連殺](#) (1発ごとに威力が上がる)』
- 同じくバルバトスの『[術なんぞ使ってんじゃねえ!](#) (味方全員のMP0)』
- アンデルセンの『[塵は塵に...AMEN!!](#) (全体攻撃+封印)』
- 広田寛(家族計画)の『[ゲシュタルト崩壊](#) (全体暗闇、混乱)』
- ルガールの『[ジェノサイドカッター](#) (単体大ダメージ)』
- ブリタニア皇帝の『[オールハイルブリタニア](#) (全体支配)』
- セルの『[かめはめ波](#)(単体大ダメージ)』
- ベガの『[サイコクラッシャー](#) (全体)』
- ジョニーの『[神速の抜刀術](#) (全体攻撃・技アニメ表示・使用后ターン強制終了)』。

勿論全員中の人ネタである。

いずれの技も300後半~4桁越えダメージの凶悪無比な技ばかりで、並みのキャラなら能力強化を使わなければほぼ1撃でオワタ状態になるほど。

彼もまた先代魔王と同じく[何者か](#)に操られている存在に過ぎず、ピコ麻呂たちに敗れた後はただの会社員として果てた。

なおSD2氏によると、彼の台詞の大部分は元ネタの存在するものである(7割以上は[某世紀末漫画](#))とのこと。

余談だが、中の人有名な咆哮「[ぶるあゝアアア!!!](#)」はセル(第1形態)が元ネタだが、中の人を担当する他の作品のキャラクターでも頻繁に使われているため、氏を代表するセリフとなっており、ファンがモノマネをするときの定番にもなっている。

初登場時の表記は「???」

